

検査設備明細書

(該当するものを○印で囲むこと。) ※不要な表は削除しても構わない。

1 検査を行う容器の種類

- ア 溶接容器、ろう付け容器、一般継目なし容器、一般複合容器、アルミニウム合金製スクーバ用継目なし容器 →A、B、C、D、E、F、Gを記入
- イ 超低温容器 →Hを記入
- ウ 圧縮天然ガス自動車燃料装置用容器、圧縮水素自動車燃料装置用容器、国際圧縮水素自動車燃料装置用容器、圧縮水素二輪自動車燃料装置用容器、圧縮水素運送自動車燃料装置用容器 →B、I、J、Kを記入
- エ 液化天然ガス自動車燃料装置用容器 →B、I、J、K、Lを記入
- オ 国際相互承認圧縮水素自動車燃料装置用容器、国際相互承認天然ガス自動車燃料装置用容器、フルフラップ容器、海外認定容器 →B、I、J、K、Mを記入

2 検査を行う附属品の種類

- ア 圧縮天然ガス自動車燃料装置用容器、圧縮水素自動車燃料装置用容器、国際圧縮水素自動車燃料装置用容器、圧縮水素二輪自動車燃料装置用容器、液化天然ガス自動車燃料装置用容器、圧縮水素運送自動車用容器に装置されている附属品 →Oを記入
- イ ア以外の附属品 →Nを記入
- ウ 海外認定附属品 →Oを記入

3 容器則第33条（国際容器則第24条）に規定する、備えなければならない設備

A 容器のさび落としのための設備、洗浄及び乾燥のための設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

B 容器の傷、腐食等の寸法を測定するための設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

C 容器の傷及び肉厚を超音波探傷試験により確認するための設備（半導体製造用継目なし容器に限る）

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

D 容器の内面を照明検査するための設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

E 圧力計及び膨張計（膨張測定試験を行う場合に限る）

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

F 残ガス回収のための設備（告示で定める容器に限る）

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

G 塗装厚さを測定するための設備（液化石油ガス充填容器、半導体製造用継目なし容器に限る）

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

H 気密試験及び断熱性能試験のための検査設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

I 容器の表面を清浄にするための設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

J 容器の外表面を照明検査するための設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

K 漏えい試験のための設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

L 断熱性能試験又は保冷性能試験のための設備

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

M 断熱性能試験のための設備（国際相互承認液化天然ガス自動車燃料装置用容器に限る）

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

N 気密試験及び性能試験のための検査設備（附属品）

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

O 漏えい試験のための検査設備（附属品）

設備名称	メーカー	型式	設備数	備考

※検査設備の基準は容器則細目告示第31条（国際容器則細目告示第56条）による。